

今回初公開！
出店前準備です

今庄そば仕込み風景

そば店出店前に今庄そばを打つ集落を4か所訪ねてみました。早朝から地域の方々が集まり、心と力を合わせて仕込んでいました。

観音堂の鐘をついて仕込み開始を合図する「おしさまの里八飯そば」
若者男女が一堂に会し、手際よくそば打ちが行われていました。



数十年ぶりに出店する「愛宕茶屋」仕込みは一番早い朝4時に開始していました。



初回から連続出店の「古木屋」高齡化が進む中、地域おこし協力隊などの若者が地域に密着し、活動していました。



区民1回で力を合わせる「この夜又そば」
県外から帰省の若者もそば打ちを手伝っていました。



毎回仕込みを続けられている方々は、体で感覚を覚えています。

〈こねる作業のポイントをお聞きました〉

- 水加減とこねる加減が大事。
- ただ丸めるだけではなく、力を込めてこねる。
- 仕上げは、しわが無いように丸める。



道具も進化して作業効率も改善しました。

そば打ちには親から子へ受け継がれています。

今庄そばまつり30年の歴史

第1回 昭和63年3月27日
今庄中学校体育館



第3回 平成2年3月25日
今庄住民センター前広場



第10回 平成9年5月18日
今庄365スキー場駐車場



第20回 平成19年5月27日
今庄365スキー場芝生広場



第1回今庄そばまつりは、昭和63年にむらおこし事業として大門に開設した「そば道場」のオープン1周年を記念して開催されました。今庄特産のそばを見つめなおし、より一層のPRを行い、グルメ志向にふさわしい魅力あるまちづくりを図り、町の活性化に結び付けようと計画されたものです。

そば打ち体験のほか、そばぎょうさん食い大会(後にそば大食い大会・早食い大会)、ミス365コンテスト(後に山海里PR隊)、八代亜紀や堀内孝雄など大物歌手による歌謡ショーなどの催しが行われる一大イベントとなりました。

また、今庄そばまつりの最大の特徴ともいえるのが、今庄の各集落が自慢のそばを打ち、それぞれの特徴あるそばを食べ比べることができることです。第6回から会場を今庄365スキー場に固定し、この日にしか味わうことのできないそばを楽しみに県内外から訪れる来場者は1~2万人を超えています。(第7回のみ台風による荒天のため中止。)

第25回からは毎回晴天に恵まれ、新緑の大自然の中、美味しいそばを味わえる地域イベントとして口コミで広まっています。

第30回 今庄そばまつり

5月28日、第30回目の開催となる今庄そばまつりが今庄365スキー場で開催されました。県内外から訪れた約15,000人の来場者は、18のそば店の中から好みの今庄そばを味わい、26の模擬店で地元特産品を買求め、第30回記念特別ステージイベントなどを楽しみました。



そば店の前はどこも行列ができています。



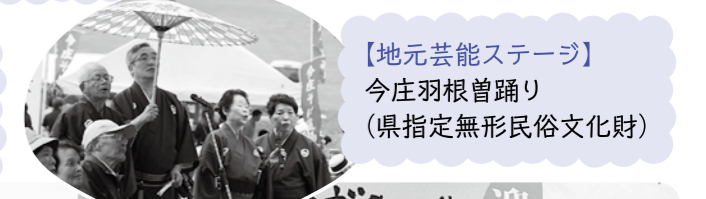
ほのぼのとしたタッピー君は、人気者！



南越前町おみやげPR展には、町特産品のほか新商品もずらりと並びました。



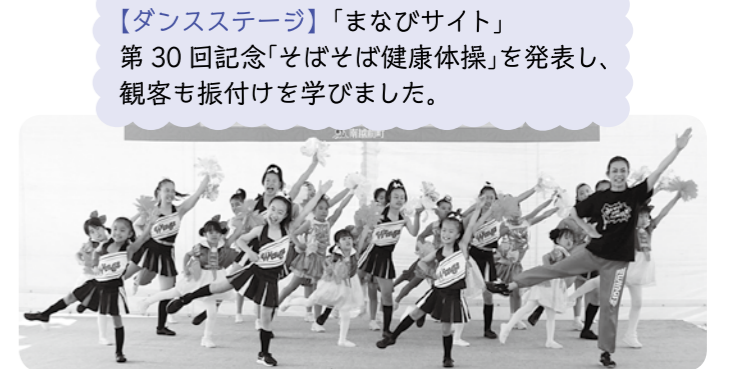
【地元芸能ステージ】
「国際空手道連盟 極真会館 坂本派 福井県本部」町内道場生の空手演武



【地元芸能ステージ】
今庄羽根曾踊り
(県指定無形民俗文化財)



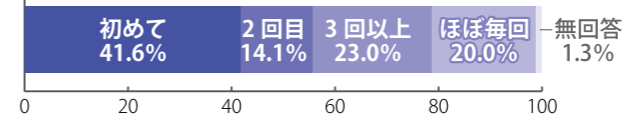
【アカペラストー】
フリーメロディー「Free Melody」が10年ぶりに登壇。第30回記念「南越前旅情2017バージョン」を披露しました。



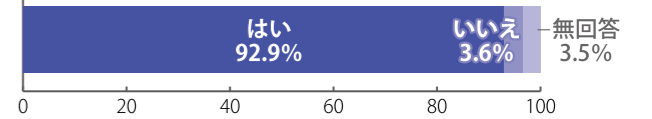
【ダンスステージ】「まなびサイト」
第30回記念「そばそば健康体操」を発表し、観客も振付けを学びました。

◆ 第30回今庄そばまつりご来場者アンケートより抜粋 (集計数716人)

Q 今度で何回目のお越しですか？



Q 来年も訪れたいと思いますか？



Q ご意見、ご要望

- 地域全体で頑張っている感じが良かったです。
- そばが想像以上に美味しく、びっくりしました。
- 毎年楽しみに来ています。ずっと続けてください。

地域の方たちが築いてきた今庄そばまつりは、第30回を迎えた今も多くの方々に愛され、年に1回のこのイベントを楽しみにしていただいていることが分かりました。

